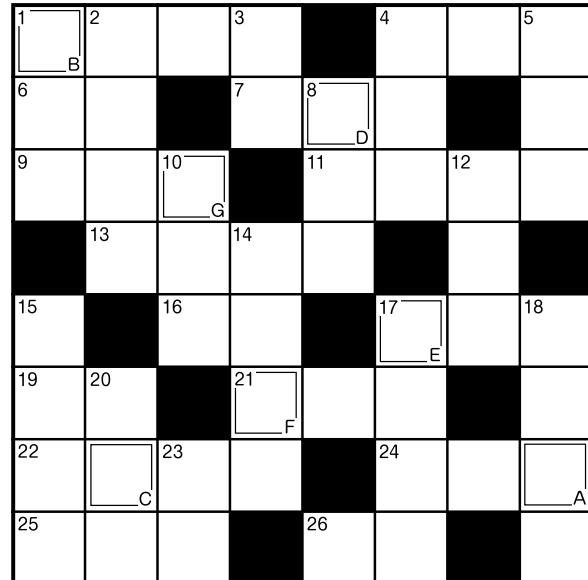


さぴあクロスワードパズル

(2023年2月)

ヨコのヒント

- ワークとは、パソコンなどのICT機器を利用して、自宅などオフィス以外の場所で働くこと。テレワークともいいます。
- 改正された○○○・介護休業法。父親も子どもが生まれて8週間以内に最大で4週間の「産休」を取れるようになりました。
- 責□、放□、□務、□意。□に共通して入る漢字の読みは？
- 走ってはいけません。静かに歩いてください。
- すごくなどで、駒が最後の場所に進むこと。また、その場所。
- どれもみんな同じである様子を「○○○○的」といいます。
- 天皇が位を譲った後も、上皇・法皇として政治を行うこと。
- 沈黙は○○。「多くを語らずに、あえて黙っていたほうがよいこともある」という意味のことわざです。
- 元禄文化を代表する画家で工芸家の○○○光琳。『紅白梅図屏風』などの作品で知られます。
- 地球の衛星。1969年に初めて人類が降り立ちました。
- ある行動を起こすもとになった出来事・きっかけ。あなたが中学受験をしようと思った○○○は何ですか。
- G7サミット(頂上)とも呼ばれる主要7か国○○○○会議。2023年は5月に広島市で開催される予定です。
- 洋食を食べる際に用いる○○○とフォーク。上手に扱えますか。
- 戦国時代、中国地方に勢力を広げた○○○元就。「三本の矢の教え」でも知られます。
- びっくりして、慌てる。さて、何を「食った」？



【答え】

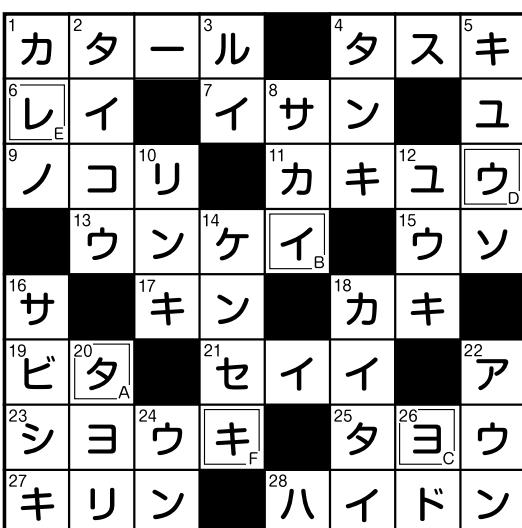
A	B	C	D	E	F	G

- | | | | | | | | | | | | | | |
|-----------------|---------|-------------------------------------|--------------------------------|----------|--------------------------|-------------------------------------|------------------|---|-----------------------------------|------------------|--|------------------------|--------|
| 23 | 20 | 18 | 17 | 15 | 14 | 12 | 10 | 8 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 海の「苔」と書いて、何と読む? | 牛の「一毛」。 | 熱帯低気圧が発達して、最大風速が秒速17・2メートル以上になつたもの。 | 第二次世界大戦後、アメリカの統治下に置かれていた○○○○県。 | 花(凡河内躬恒) | ○○○おまどはせる白菊の花(おおじゆうのひなた) | ○○○多くして、船山に上る。指図する人が多いと、かえってうまくいかない | ○○○心てに折りばや折らむ○○○ | ○○○なり生活したりしていくこと。いつも使う道が工事などで通れないとき、回り道をすること。 | ○○○人に頼らないで、自分の力で行動したり生活したりしていくこと。 | ○○○相手を怖がらせて脅すこと。 | ○○○静岡市の○○遺跡。弥生時代の水田の跡やたくさんの木製農具などが発見されました。 | ○○○東京―大阪間が最短67分で結ばれます。 | タテのヒント |

前月号の解答と解説

【答え】

A	B	C	D	E	F
タ	イ	ヨ	ウ	レ	キ



★太陽暦

太陽暦とは、地球が太陽の周りを1周して元の位置に戻る周期(約365.2422日)を1年として定める暦のことです。古代エジプトで誕生(エジプト暦)し、改良が加えられ、現在では多くの国々が、1582年にローマ教皇が制定したグレゴリオ暦を採用しています。それ以前のユリウス暦では、西暦年数が4で割り切れる年は必ず閏年(366日)でした。グレゴリオ暦では、4の倍数であっても、100の倍数になる年は、400の倍数でない限り平年(365日)となります。

日本がこの太陽暦を使用するようになったのは、今からちょうど150年前の1873(明治6)年1月1日から。それまで使っていた太陰太陽暦(旧暦)は、月の満ち欠けを基にしながら、太陽の動きを加味して、月と季節が大きくなっています。月が朔(新月)になる日を月の始まりと考え、各月の1日とします。再び朔になる日が翌月の1日です。朔から次の朔までの約29.5日なので、1か月は29日または30日になります。12か月ではおよそ354日なので、それを1年とすると、少しすつ日付が実際の季節とずれていきます。そこで、そのそれが1か月分に近くなると、途中に「閏月」を入れて修正します。このため、太陰太陽暦の時代は、1年が13か月の年が19年に7回くらいの割合がありました。

こうしたなか、日本は江戸時代末に開国し、明治時代になると、新政府と欧米諸国との交渉事が増えました。交渉や条約締結に際しては、日本も世界標準の太陽暦を使うのが合理的です。一方、近代化政策を進める当時の政府は財政難で、年俸制から月給制に切り替えた役人の給与の支払いに苦慮していました。明治6年は太陰太陽暦では閏月がある年。改曆しなければ、給与も1か月分余計に支払わなければなりません。しかし、改曆すれば、給与の支払いは1年12回で済みます。合理的で、財政的にも助かるとして、政府は旧暦の明治5年11月9日に、来る12月3日をもって新暦の明治6年1月1日とすることを宣言しました。改曆を急いた理由としては、こうした事情もあったのです。

ヨコ

- カタール
- ターサン
- ルイ
- タス
- キュウ
- レイ
- イ
- サン
- ユ
- ノコリ
- カキ
- ユウ
- ウン
- ケイ
- イ
- ウソ
- サ
- キン
- カキ
- ア
- タ
- セイ
- イ
- ア
- ヨウ
- キ
- タ
- ヨウ
- ウ
- ドン
- キリン
- ハイドン

タテ

- 枯野(かれの)
- 均(きん)
- 太閤(たいこう)
- 寂しき(さびしき)
- 冷(れい)
- びた
- 類(るい)
- 解体(かいたい)
- 遺産(いさん)
- 征夷(せいい)
- 勝機(じょうき)
- 窮鼠(きゅうそ)
- 便り(たより)
- 残り(のこり)
- 多様(たよう)
- 短氣(たんき)
- あうん
- 火球(かきゅう)
- 運(うん)
- 臨機(りんき)
- ハイドン
- うそ
- ハイドン
- 有機(ゆうき)
- 淀(よど)